



ガバナーズレター8号発信後に原菊子様が国際理事としてご活躍のご様子をご報告
下さいました。

“ゾンタで得たものは世界中の友達です”

～その2～ ブルガリア 30地区大会に出席して

国際理事 原 菊子

皆様、ご存知でしたか？ ブルガリアはバラの国です。 私の頭の中にはブルガリア＝
ヨーグルト、相撲の琴欧州しかありませんでした。

しかし、華やかでかわいいブルガリア地方の赤い色の
民族衣装、5-6月にかけて町中がバラで満開になる
バラの谷カザンラクには世界から多くの観光客が集ま
ります。 そして民族性が日本人にとっても似ている、
おもてなし上手、やさしいところをもった民族です。



9月27日に成田を出発、パリドゴール空港でエアフランスに乗り換えて、夜の10時に
ブルガリアの首都ソフィアに到着しました。

初めての国、初めての町、通関を終了して外へ出ると、ガバナーの代理でゾンシャンの
Nadia Ivanova が「KIKUKO」のサインを手にして待っていました。

一番の心配でした、夜遅く知らない国で誰もいないとどちらを向いて動いていいのかもわか
りません。 またその夜はソフィアの空港の近くのホテルに泊まり、翌朝のブルガリア航
空で地区大会が開かれるベルーナ（VERNA）へ向かいました。

ベルーナの空港には私のエスコートが一輪のピンクの百合にピンクのリボンを結んだ花をも
って迎えてくれました。 “滞在中あなたの部屋がいい香りで満ちるように” これは花束
より素敵でした。 彼女は初日から私が帰るまで、きめ細かにエスコートを勤めてくださ
いました。 食堂ではお皿に色々の種類の料理を盛って席まで持ってきたり、私の重いカバ
ンを持ってくれたり、若いゾンシャンですが、素敵な方でした。

地区大会の始まりはシティーホールで各国の民族衣装でフラッグパレードから始まり、私も着物姿で出ました。ひとり一人にブルガリアの海兵隊の兵士が付き添ったフラッグパレードでした。

日本の国歌が奏でられたときは感激で涙が出そうでした。

基調講演は次期大統領候補者（女性）で、とても理知的に美しく、スタイルが良い方で、スピーチは全部英語でした。個人的に一番に聞かれたのは東北震災被害者のことでした。



地区大会が始まり、ウエルカムディナーも開始時間がおそく、ディナーの後には必ずダンスがあります。そして楽しく踊り、親交を深めて地区大会では将来の地区の在り方や国際に対する希望等、マイクの前に立つ人が絶えないほど、皆さん意見を言って討議するのは民主主義の手本で良かったと思いました。

地区大会を終えて帰路ソフィアで約3時間の乗り継ぎ時間がありました。

ガバナーの友人でゾンシャンがソフィア空港に出迎え、ご自身の運転でソフィアのクイック観光をしてくれました。大聖堂を含め大統領の執務室等案内され、地下水には温泉のような温かい水が出ていました。ブルガリアのあたたかい気持ち、どのゾンシャンからも感じられた今度の旅でした。